

金武町教育委員会広報

(仮称)

第2号

発行
金武町教育委員会

利用者カードを つくりませんか？



金武町立図書館長 仲田博子

町立図書館の利用者カードはもうお持ちですか？

現在、利用者カード作成者（登録者）は五、七六七人で、

これは町民の約五十二%になります。十九年度の貸出冊数は六八、一〇八冊で一人平均十一・

八冊となり、登録者五、七六七人が平均十一・八冊借りていることになります。利用者カードを作ると、一人五冊の図書資料と二点のCDやビデオを借りることができます。家族みんなで本を借りて家族読書ができたら、なんとすてきな家族団らんのひと時がもてると思いませんか。

飽くことなく読み聞かせをせがむ子ども達には、何冊でも何回でも読んであげることができます。大人は趣味の本や専門書・ベストセラーなどが楽しめます。赤ちゃんとからおじいちゃん・おばあちゃんまで、それぞれの人の読書スタイルを支援するものが町立図書館の役割です。

図書館では職員が利用者に対して親切に対応しますので、これからも資料をより一層充実させ職員一同頑張りますので、よろしくお願いします。



司書 宜野座悦子

奉仕係の一員として、主に図書資料の発注・収集・案内や図書館行事の企画運営を担当しています。町民の皆様の日々の暮らし、学習や仕事に役立つ身近な図書館として活用されるような図書館サービスの向上に努めた

広報を担当している仲田です。「一目で必要な情報がわかる」ことを心がけて、ホームページの更新、お話の部屋・ちびっ子映写会のポスター、カレンダー作成等をしております。皆様のご来館を心よりお待ちしております。



奉仕係 司書 島袋妙子

探している図書が町立図書館に無い場合、所蔵している図書を探し出し、借り受けて利用者の方へ提供する「相互貸借」「児童サービス」「児童読書案内・ちびっ子映写会の計画》」、図書



係長 宮城貞弘



奉仕係 司書 仲田留理子



金武町立図書館の仲間です。主に毎月の図書館便り・児童読書案内を担当しています。利用者の皆さんの笑顔が一番の楽しみです。あなたにとつて特別な一冊となる本が見つかりますように。



奉仕係 司書
仲間 瞳

館便りの担当をしています。調べ物、探している本等があるときは、気軽に声を掛けてください。

図書館は地域住民の知的欲求のニーズに応えることができるよう頑張っています

資料係 司書



大城 美江子

仲田 恵子

安富 敦子

渡口 ミユキ

図書館では、司書八人がカウンターサービス（貸出・返却・相互貸借等）、視聴サービス（CD・ビデオ・DVD）、レンタルサービス（調査相談）等を担いながら、さらに奉仕係（四人）資料係（四人）の二班で分担された業務を行っています。

私達、資料係はより速く正確な資料の情報、詳細を提供できるよう図書館にあるすべての資料（図書、月刊週刊誌、雑誌、新聞、CD、ビデオ、DVD、その他）をコンピュータに入力しています。

その他に図書館行事（お話の部屋・ちびっ子映写会等）の実施、図書館資料の修理等があります。図書館の資料はすべて無料で借りることができます。

地域住民の皆様の知的欲求のニーズに応えることができるよう、職員一同、日々の業務・活動を頑張っています。図書館をご利用になり、お困りの際にはどうぞお気軽に職員にお尋ねください。



『育てるここと』は 心を育て 愛情を 満たしてあげること

名護 玉那霸さんが講演

子育て支援に役立てようと『娘と共に乗り越えた不登校の二年間』という題で、名護市在住の主婦で玉那霸正美さんの講演会（主催・北部地区不登校児童会、児童家庭支援センターなごみ、後援・名護市教育委員会、名護市福祉事務所）が六月十九日、名護市中央公民館小ホールで開かれた。玉那霸さんは何の問題もなかつた良い子の長女が中一の時、突然眠り続けて不登校になり家から出られなくなる。【返り現象】といふ五・六歳の幼児に戻る娘を目の当たりにして「私が絶対あなたを守る」と抱きしめ向き合つてきた。二年間の時間を通して娘から様々な親学を学んで今ではかけがえのない時間です。その

当時出会ったドクターに、子どもが行ける所まで行く。何度も待つ。その時、朝顔やひまわりの花を育てるこのアドバイスをうける。初めは芽も出なかつたのが今では上手に花を咲かせるまでになった。愛情を傾けてあげれば必ず答えてくれる。育てることは心を育てること、愛情を満たしてあげる。ドクターに「学校に行けなくて困ることはありませんか?」「家の手伝いを良くしてくれるから良い。あせらないで長い目で見る。お母さんは我慢・耐える時、学校に行くのが目的ではない。自分の夢を実現するための手段として学校がある。」中三になり高校受験をするが失敗する。那霸は三十歳までに育てば良い。親は、子どもの可能性を信じて待つ。あなたがいるだけで嬉しい。我が家が大切という心。子ども的人生は親より長く生きてほしい。一人立ちしてほしい。といふ思い。それには夫の支えが必要である。今では逆にその子達に支えられている。と大変貴重な体験談でした。玉那霸さんは、

なり喫煙・ピアス・茶髪と夜遊びもして警察のお世話にもなる。長女を見ているので息子をすべて受け入れて、「あなたは、見た目は悪いが心はぐれていないと信じているよ。何があつても母さんはあなたの見方だよ。」と常に言う。母が咲かせたコスモスの花を一輪、机の上に飾る。

今では、京都で調理士で頑張っている。不登校で立ち直つた子はそれ以上の力を發揮して伸びていると話す。

中学生の子育ては、親の力半分、子どもの力半分で育つ。男は三十歳までに育てば良い。親の夢を実現するための手段として学校がある。中三になり高校受験をするが失敗する。那霸は、子どもの可能性を信じて待つ。あなたがいるだけで嬉しい。我が家が大切という心。子ども的人生は親より長く生きてほしい。一人立ちしてほしい。といふ思い。それには夫の支えが必要である。今では逆にその子達に支えられている。と大変貴重な体験談でした。玉那霸さんは、

猛勉強をして電卓五段・ワープロ・簿記検定を取得して学校代表までなる。専門学校・短大卒の免許も取得して東京でOLをしている。

二番目の年子の長男は中二に

毎月「不登校児を持つ親の会」

にアドバイザーとして参加なさっています。この講演に参加するのは二度目で、前回二人のお母さんと参加して、そのお子さんは、今元気に自分の夢に向かって学校に登校しています。

「平成二十年度就学義務猶予免除等の中学校卒業程度認定実施」の願書受付について

病気などやむを得ない事由に免除された者等々（他にもいろ

いろな事由について）に対し、

中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行

う試験であり、合格した者には高等学校の入学資格が与えられ

るものです。

実施要項等詳しいことについてお知りになりたい方は、教育委員学校教育課の窓口にてお尋ね下さい。ちなみに願書受付期間は八月二十二日～九月九日ま

『学び合い』学習について

中川小学校 伊波一男

本校では、今年度から『学び合い』学習の授業に取り組んでいます。上越教育大学の西川純教授による『学び合い』の手引き書の冒頭に、このような文章があります。

「学級担任として、また教科担任として、こんなクラス・授業を創つてみたいと思いませんか?」

(1) クラスの「最低点」が満点の八十%以上である。(「平均点」が八十分ではありますません!)

(2) クラスに不登校児童・生徒がおらず、欠席率が限りなく○に近い。

(3) 保護者からの評判がすこぶる良い。

(4) 特別支援の必要な子だと前担任から散々脅かされたが、全然気にならない。

(5) 毎日、毎日、子どもが何をするのか、楽しみで、楽しみで、明日の学校が待ち遠しい。

どうでしょうか?

『こんな理想的すぎない』と思われる方がいらっしゃるかもしれませんね。でも、もしあなたが『今よりも少しでも理想に近づきたい』と願うならば、『学び合い』はあなたに道を示します。

本校でも「今よりも少しでも理想に近づけたいと願って」、今年度から、『学び合い』の授業に取り組むことにしました。

早速、五月二十六日に、西川純先生同様に、『学び合い』学習の研究者である信州大学の三崎隆準教授をお招きし、本校と嘉芸小学校で『学び合い』学習の出前授業を実施しました。「百聞は一見に如かず」の諺のとおり、『学び合い』学習を実践するにあたり、大変意義深い一日となりました。



本校は全校児童が八十名で、一学級平均の児童数は約十四名となっています。職員数も少なく共通理解を図るのも比較的容易にできます。大きな学校と違ったが『今よりも少しでも理想に近づきたい』と願うならば、『学び合い』はあなたに道を示します。

『学び合い』学習の理論と実践については、西川純先生 (<http://www.iamjun.com/>) や三崎隆先生 (<http://rika.shinshu-u.ac.jp/misaki/index.html>) のホームページに詳しく掲載されています。どうぞ、「」覧下さい。



『学び合い場面』於：中川小

『沖縄県学力向上対策 計画訪問』

国頭事務所から四名の先生方

指導班班長：島袋克也

主任指導主事：森元幹生

指導主事：伊波和子

先日、六月十日（火）に金武小学校に於いて学校訪問がございました。

当日は、沖縄県義務教育課と国頭教育事務所の計画訪問に合わせて金武町教育委員会訪問も行いました。

学力向上対策を推進する上で、特色ある取組を実践している又は、課題を抱えている学校及び市町村教育委員会を直接訪問し、その成果と課題について情報交換及び協議を行い、次年度の「学力向上対策」の推進に生かすことを趣旨として実施されました。

県教育庁義務教育課、総務課

最初は幼稚園の保育参観から以上七名の先生方の訪問を受けました。園児たちは園庭一杯に広がっていました。先生を囲むようにして座つてお絵かきのお勉強しているグループ。竹藪の周りでは、園児たちが台湾カブトムシの幼虫を探そうと懸命に根の周りを掘り起こしている。「あつた」「ほらっ」とその場を通る先生方に自慢げに見せる。その屈託のない表情に周りの先生方が微笑む。教室に目を向けると、充実した遊具や書棚が整然と整理されており、掲示物などに工夫が見られた。

環境の良いこの幼稚園で一生懸命な先生たちに育まれる園児たちの前途に明るいものが感じます。

県教育庁義務教育課指導主事
平良雅司、仲田欣五
総務課指導主事
半嶺 満

社会指導主事・島川直樹
以上七名の先生方の訪問を受けました。

最初は幼稚園の保育参観からでした。



ていく。

徐々にではあるが、全体集会においても、落ち着いた雰囲気で進められている。

それと、頑張りノートの活用についても力を入れたい。

これも、根気のいる作業だが担任は一人一人のノートに目を通し、コメントを付けて欲しい。

児童たちは、担任のコメントに励まされる。反省する。自信を得る。等々児童にとっては一つ一つが成長につながると信じている。

次に、学校の取組が説明された。

校長先生の説明で、本校では

「一事徹底」を掲げ、全教職員

共通理解のもと取り組んでいる。

例えば「学習のルール作り」で

ある。先生が授業で説明を始めると、児童の聞く姿勢はどう

か、おしゃべりをしている児童

はいないか、等々授業における

基本的な学習態度やルールを守

らせることに、指導を徹底させ

たい。この部分がお座なりにな

ると、授業の流れは良くはなら

ない、忍耐のいる指導だが続け

ました。

幼稚園は教室や書棚、遊具等



- が充実しており、色々な工夫が見られた。片づけもちゃんとしており、きめ細かい指導が小学校につながればよい。
- 一年二組では活発に意見が交わされ、挙手にも指のサインを考えるなど工夫されていて良かった。
- 三年生国語科の指導案に頑張りノートの具体的な目標が示されたのは良い。等々良い評価をもらった事柄があったが他に、苦言や助言もいただいた。
- 学習状況調査、部活動員の実態調査を実施し、その結果を分析・検討し、校内研修等で改善策を編み出し解決につながる取組をして欲しい。
- 学校側としては、改善を求められた内容についての学校の対応策として、
- 幼・小と連携した推進計画を見直す。
 - 部活動に所属している部員の実態調査を行う。(調査済み)
- 改善すべき点として**
- ①家庭学習について
- 学校全体の状況を把握し、一斉と個々への家庭学習のやり方、コメントの重要性、家庭との連携を図る。
- 指導案は、共通理解が図られ統一されていたが、観点別に評価がなかつた。
- 到達度テストの結果を分析・検討し、苦手領域等を克服。授業力の向上を目指して欲しい。
- 学習状況調査、部活動員の実態調査を実施し、その結果を分析・検討し、校内研修等で改善策を編み出し解決につながる取組をして欲しい。
- 幼・小それぞれの推進計画が有機的につながるよう、幼・小連携研修会等で情報交換や見直し等を行う。
- 部活動を中心と考え、家庭学習がお座なりにならないよう顧問と家庭の連携について広報や町校長研修会等でとりあげ、地域や家庭の協力や連携が図られるようにする。
- 学校の掲げた改善すべき点に向けた取り組みに、教育委員会で得てある良い資料や手法等を提供するなど支援していく。
- ②授業改善
- 本時のめあて、まとめをしつかり、板書の機能、学習時のかかわりを聞く態度の育成
- ③授業の開始時刻の徹底
- 改善策を求められた内容について教育委員長の支援策
- 幼・小それぞれの推進計画が有機的につながるよう、幼・小連携研修会等で情報交換や見直し等を行う。
- 第二十四回全国小学生陸上競技交流大会に、沖縄県代表として出場することになりました。種目は、四×百Mリレーです。沖縄大会では、これまで野球で培った練習の積み重ねを發揮し、好記録で見事優勝。
- 『快挙！金武メダリストAが全国大会出場へ』
- 第二十四回全国小学生陸上競技交流大会に、沖縄県代表として出場することになりました。種目は、四×百Mリレーです。沖縄大会では、これまで野球で培った練習の積み重ねを發揮し、好記録で見事優勝。
- 会場が東京国立競技場で開催されます。かつては、アジアでは初のオリンピックや世界陸上開催等の実績を残す競技場で超一級の施設設備で、伸び代が大きくなっています。かくては、アジアでもAチームに、金武町民の皆さんでエールを送りましょう。

『金武町内幼稚園・小学校連携研修会』から

六月二十四日（火）に開催。ここでは、情報交換の中から各校の取組や成果、課題などを載せたいと思います。

六月二十四日（火）に開催。

ここで大集団の活動など、様々な取組を通じて、社会性に繋がるものを作り出したい。

【中川幼稚園・小学校】

「小学校の先生から」

○入学当初の一年生は、ひらがなを扱った授業は厳しいと感じた。幼稚園で五十音や、簡単なことばが読めるように指導してもらうと、児童たちも少しは自信を持って臨めるのではないか。

「幼稚園の先生から」

○先生の指示通りに行動ができる。約束を守る。など集団活動が規律正しくできるようにさせる。このことは安全面でも大切な事であると思う。

○体育や水泳指導など、幼稚園

と一年生、二年生が相互の連携で安全管理を図りながら実施している。

○幼稚園は六人という小集団な

ので。大集団の活動など、様々な取組を通じて、社会性に繋がるものを作り出したい。

【金武幼稚園・小学校】

「小学校の先生から」

○幼稚園から小学校に繋げるために、幼稚園で取り組んで欲しい事など要望があれば教えて欲しい。

○保育所から幼稚園に入園した当初、掃除をさせようとすると「掃除するの」と言う反応を示していた。『褒美シール』をあげて意欲をかき立てるなどの工夫をしている。

○先日小学校で授業を参観した時、授業中の基本的な姿勢などがしっかりとできていた。

短期間でここまで身につく

ものかと感心した。

○帰りの会や設定保育の時間を生かして、少しでも長く椅子に座ることができ、集中力

が身につくよう指導している。

ので。大集団の活動など、様々な取組を通じて、社会性に繋がるものを作り出したい。

【小学校の先生から】

「小学校の先生から」

○授業参観の感想を、幼稚園の先生方に依頼した。それをコ

ピーして一年生に見せた。

○絵本の読み聞かせをすると集

中力が増し、聞く態度を身につけるのに効果的だと思う。

○ひらがなは、筆順を間違えて覚えてしまうと、入学してから直すのに苦労する。書き順

を指摘するとショックを受け

て固まってしまう。

○授業中、他のことをやる児童

がいる。我慢することや、気持ちの切り替えができる児童

に育てていきたい。

○幼稚園で給食や掃除の指導を

行っているお陰で、他学年に比べ、準備は遅いがきちんとされている。落ち着きがあり掃除も良くやっている。幼稚園で給食や掃除の指導を行っているのはありがたい。

【嘉芸幼稚園・小学校】

〈幼稚園の先生から〉

○元気な子が多いが、そういう

子ほど、人前で挨拶するのが苦手である。進んで挨拶ができるように指導している。

○夏休みに、幼稚園・一年生と二年生で交流会の実施を計画している。

○四月、五月は小学校入門期として手順を教える時期であるが、一通り教えて、子どもたちが理解したように見えて、

いざ自分たちでやってみるときになると、指示通りに行かないことがあった。作業途中で確認を行いながら細かい指導が必要に思う。

○クラス三十五人中九人が嘉芸幼稚園以外からきている。

まく中に入れるかと心配したが逆に良い意味でクラスをひっぱってくれている。

この研修を主催した私は、日

常において、幼稚園と小学校がわだかまりを持たず情報を交換し、時には連携を図りながらうまく襟^{たすき}を繋げていると感じた。低学年の基礎作りが重要と捉え、地道に取り組んでいる先生



小学校4年担当者連絡会



六月十七日（火）に金武町立小学校第四学年担当者連絡会を開催しました。

この連絡会のねらいは、十二月三日と四日に小学校二年生と四年生を対象に実施される学力到達度調査に向けて取組み、より良い成果を残し、現小学校四年生が対象になる来年度の全国学力・学習状況調査（五年生対象）に自信を持って臨めるようにするためです。

そこで、連絡会で話し合われた内容を載せます。

【標準学力調査結果分析・検討】

①小学校四年国語の結果から

金武町内三校の平均正答率が五十七%で、三校の中で最高の正答率が七十一%最低が四十六%です。前年度全国平均正答率七十一%（今回の期待正答率七十三%）

②正答率度数分布から（国語）

※度数分布とは、正答率百分比を十%（十%、二十%～九十九%）区間に分けたとき、各%において、全体に占める割合を表したグラフのこと。

○中川小学校

正答率の高い児童の割合多い。正答率の低い児童の割合が少ない。少人数学級の特長を生かし、正答率の低い児童を支援して欲しい。

○金武小学校

正答率の高い児童の割合は比較的多いが、正答率の低い児童がなだらかな山で分布し、授業について行けない？ついて行かない？児童がやや多く、注意が散漫になる児童が多いのでは、解答傾向等（プロフィール）を分析し、低正答率児童への弱点克服の指導工夫改善等の取組に期待したい。

③小学校四年算数の結果から

金武町内三校の平均正答率が六十五%で、三校の中で最高の正答率が七十九%最低が五十一%です。前年度全国平均正答率七十八%（今回の期待正答率七十五%）

○嘉芸小学校

正答率七十%で大きい山を成しているが、全体的に鋸状で、平均的な正答率の部分が谷間にあり、正答率の低い児童の割合が多い。授業の内容に物足りなさを感じる児童、あるいはついて行けない児童で構成を成しているのは授業の進め方に困難さを感じる。

学習支援者と連携を図り、解答傾向等を分析し低正答率児童への、弱点克服の指導工夫改善等の取組に期待したい。

○嘉芸小学校

低正答率の児童が鋸状に多いのが気になる。本時の導入や基礎基本につまづき、授業について行けない？児童がやや多く、注意が散漫になる児童が多いのでは、学習支援との連携で、基礎基本の補習カリキュラム等を取り組んでみてはどうか。

④正答率度数分布から（算数）

各校は、個人面談で標準学力調査結果をまとめた個人票を基

童がはっきり分かれている。

単元や内容によって思い切った授業のカリキュラムが組めるので、低正答率児童には、本時の内容からはずれてもその内容につながる基礎基本に絞るなど、工夫改善にされた取組に期待したい。

教育委員会に於いても、前例にとらわれることなく、小学校四年生の担任と連絡や連携を密にしながら、より積極的に底上げの取組を推進していく

に苦手な領域や生活行動・学習活動等に触れて、授業がない夏休み中は、生活のリズムが崩れるのでは、低正答率児童には、ないよう注意し、苦手な領域の克服に繋がるような取組をするためにも、計画的に過ごすよう指導している。

に苦手な領域や生活行動・学習活動等に触れて、授業がない夏休み中は、生活のリズムが崩れるのでは、低正答率児童には、ないよう注意し、苦手な領域の克服に繋がるような取組をするためにも、計画的に過ごすよう指導している。



第19回 金武町児童陸上競技大会



六月二十八日（土）に青空の下、町営グラウンドで開催されました。今日は、新記録も数多く出ており、グラウンド上は子ども達の熱気で燃えていました。ここで、各種目一位と新記録をまとめお知らせします。陸上王国「金武」の復活の日も近いぞ!!

トラック

学年	性別	種目	順位	氏名	学校名	記録	備考
1年生	男子	70m	1位	伊 藝 勇斗	嘉芸小	12"79	大会新
	女子	70m	1位	宝 結奈	金武小	13"56	大会新
2年生	男子	100m	1位	高 原 鳥	金武小	16"69	大会新
	女子	100m	1位	知 念 春花	金武小	18"06	
3年生	男子	100m	1位	大 城 龍叶	金武小	16"93	
	女子	100m	1位	神 山 久依	金武小	18"28	
4年生	男子	100m	1位	仲 田 尚徳	金武小	16"06	
	女子	100m	1位	松 田 垂矢加	嘉芸小	15"87	
5年生	男子	100m	1位	吉 野 鳩	嘉芸小	15"22	
	女子	100m	1位	伊 芸 さくら	金武小	14"71	大会新
6年生	男子	100m	1位	仲 間 翔太朗	金武小	13"25	大会新
4年生	男子	200m	1位	仲 間 光太	金武小	37"54	
	女子	200m	1位	吉 里 滉	嘉芸小	39"80	
5年生	男子	400m	1位	仲 間 泉太	金武小	74"63	
6年生	男子	800m	1位	池 原 樹	嘉芸小	3'19"74	

4×100MR

学年	性別	順位	チーム名	氏名	学校名	記録	備考
4年生	男子	1位	はりけんず	當 山 大智 間 遼汰	金武小	67"89	
4年生	女子	1位	金武メダリストクラブ	前 泊 奈岐 又 吉 倭 子	金武小	68"73	大会新
5年生	男子	1位	マッハ Vパン	高 原 翔貴 仲 間 泉 太	金武小	64"52	
5年生	女子	1位	スマイルキッズ	大 城 優希乃 伊 芸 久美重	金武小	62"89	大会新
6年生	男子	1位	マッハV4	平 川 翔太郎 宇久田 原 浩貴	金武小	55"15	大会新

フィールド

学年	性別	種目	順位	氏名	学校名	記録	備考
4年生	男子	走幅跳	1位	城 間 裕斗	金武小	3m38	
6年生	男子	走幅跳	1位	城 田 悠人	金武小	3m65	
5年生	男子	ボール投	1位	登 川 海都	嘉芸小	39m54	
6年生	男子	ボール投	1位	城 間 裕喜	金武小	60m29	大会新

第30回 金武町民体育大会 開催中 !!



現在、各種目で熱戦が繰り広げられています。これまでの競技結果をお知らせします。

卓球大会

七月六日（日）
場所：金武町立体育館
優勝：四区
準優勝：中川区

バドミントン大会

七月十三日（日）
場所：金武町立体育館
優勝：中川区
準優勝：三区

バレーボール大会

七月二十日（日）

場所：金武町立体育館

男子の部
優勝：中川区
準優勝：四区

女子の部
優勝：中川区
準優勝：屋嘉区

角力大会

七月五日（土）

場所：金武区公会堂前広場

優勝：三区
準優勝：四区

迫力ある取組の連続で、会場は盛り上がりました。

それと、「広報名」についてですが、いまだに決定できません。町民の皆さんに良い案がございましたら、教育委員会までは是非お寄せ下さい。

仲田和夫先生は、教育長として平成三年より平成十一年にかけて二期つとめられ、金武町の教育のためにご尽力なされました。過日、病気療養中薬石こうなく永眠されました。

奥様の幸子先生は、教育長室を訪ねられ、悲しみを堪えながら気丈にも和夫先生の思いやこれまでを話されました。金武町教育委員会としても教育行政に関わる身として、気持ちを新たにし、金武町教育のために勇往邁進していく所存です。

編集後記

仲田和夫先生は、教育長として平成三年より平成十一年にかけて二期つとめられ、金武町の教育のためにご尽力なされました。過日、病気療養中薬石こうなく永眠されました。

『故 仲田和夫先生 の思い』